

平成 20 年度

相模原市中沢財産区特別会計
歳入歳出決算審査意見書

相模原市監査委員

相模原市中沢財産区管理者
相模原市長 加山俊夫 殿

相模原市監査委員 石橋 忠文

同 久保田 隼夫

同 小池 義和

平成 2 0 年度相模原市中沢財産区特別会計
歳入歳出決算の審査意見について（提出）

地方自治法（昭和 2 2 年法律第 6 7 号）第 2 3 3 条第 2 項の規定に基づき、審査に付された平成 2 0 年度相模原市中沢財産区特別会計歳入歳出決算及び証書類その他政令で定める書類を審査したので、別紙のとおり意見書を提出する。

なお、地方自治法第 1 9 9 条の 2 の規定に基づき、大貫勲監査委員は、審査から除斥した。

以 上

目 次

審査の対象	1
審査の期間	1
審査の方法	1
審査の結果	1
審査の意見	1
審査の内容	2
1 決算の概要	2
(1) 歳入	2
(2) 歳出	5
2 実質収支に関する調書	6
3 財産に関する調書	7

- (注) 1 文中に用いた金額及び面積は、単位未満は切り捨てた。
また、表中に用いた金額のうち千円単位については、原則として単位未満は切り捨てた。
- 2 比率は、原則小数点第2位を四捨五入した。
このため、計数が一致しない場合がある。
- 3 文中に用いるポイントは、パーセント間の単純差引数値である。
- 4 各表中の符号の用法は次のとおりである。
- 「0.0」…… 該当数値はあるが単位未満のもの
- 「 」…… 収支不足額を示し、又は増減では減を示すもの
- 「 - 」…… 算出不能、該当数値のないものなど

平成20年度相模原市中沢財産区特別会計歳入歳出決算審査意見

審査の対象

- (1) 中沢財産区特別会計歳入歳出決算
- (2) 中沢財産区特別会計歳入歳出決算事項別明細書
- (3) 中沢財産区特別会計実質収支に関する調書
- (4) 中沢財産区特別会計財産に関する調書

審査の期間

平成21年7月1日から平成21年8月3日まで

審査の方法

審査に当たっては、中沢財産区特別会計の歳入歳出決算書、同歳入歳出決算事項別明細書、同実質収支に関する調書及び財産に関する調書について、それぞれが関係法令に準拠して調製されているか、決算の計数に誤りはないか、予算は適正かつ効率的に執行されているかなどを主眼として、関係諸帳簿及び証拠書類との照合等通常実施すべき審査手続により実施した。

審査の結果

審査に付された中沢財産区特別会計の歳入歳出決算書、同歳入歳出決算事項別明細書、同実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、いずれも法令に規定された様式により作成されており、記載金額等は歳入簿、歳出簿、証書類、財産台帳等と符合し、計数的に正確であると認められた。

中沢財産区特別会計の決算内容及び予算の執行状況等については、おおむね適正であると認められた。

決算の概要等については、審査の内容に記述するとおりである。

審査の意見

相模原市は、重点施策の1つとして、自然と都市の調和に配慮した発展を目指し「人と自然が共生するまちづくり」を掲げているところである。

豊かな自然は、暮らしの中に安らぎと潤いをもたらすものであり、財産区財産は、この一翼を担うものである。

こうしたことから、財産区においては公益的役割を踏まえつつ、財産区財政の健全な運営に引き続き努められるよう要望するものである。

審査の内容

1 決算の概要

決算額は、歳入 107 万円、歳出 76 万円で、歳入歳出差引額は 30 万円となり、翌年度へ繰り越すべき財源はないので、実質収支額も同額である。

決算額を前年度と比較すると、歳入は 4 万円 (4.0%)、歳出は 9 万円 (10.7%) の減少である。

決 算 の 状 況

(単位：円、%)

区 分	20 年 度	19 年 度	増 減 額	増減率
予 算 現 額	1,171,000	1,580,000	409,000	25.9
歳 入 決 算 額 A	1,075,829	1,120,324	44,495	4.0
歳 出 決 算 額 B	766,161	857,983	91,822	10.7
歳入歳出差引額 (A - B) C	309,668	262,341	47,327	18.0
翌年度へ繰り越すべき財源 D	0	0	0	-
実 質 収 支 額 (C - D) E	309,668	262,341	47,327	18.0
前 年 度 実 質 収 支 額 F	262,341	448,383	186,042	41.5
単 年 度 収 支 額 (E - F)	47,327	186,042	233,369	-

(1) 歳 入

(単位：円、%)

区分 年度	予 算 現 額 (A)	調 定 額 (B)	収 入 済 額 (C)	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
						$\frac{(C)}{(A)}$	$\frac{(C)}{(B)}$
20	1,171,000	1,075,829	1,075,829	0	0	91.9	100
19	1,580,000	1,120,324	1,120,324	0	0	70.9	100
増減	409,000	44,495	44,495	0	0	21.0	0
増減率	25.9	4.0	4.0	-	-	-	-

歳入における決算の状況は、予算現額 117 万円に対し、調定額 107 万円で、その全額が収入済となっている。

前年度と比較すると、予算現額では 40 万円 (25.9%)、調定額及び収入済額は 4 万円 (4.0%) の減少となっている。

財源別対前年度比較

(単位：千円、%)

区 分	決 算 額		構 成 比 率	
	20 年度	19 年度	20 年度	19 年度
自 主 財 源	1,075	1,120	100	100
依 存 財 源	0	0	0	0
計	1,075	1,120	100	100

(注) 本表は、地方財政状況調査の分類方法を準用した。

収入済額を財源別に分類し比較してみると、すべて自主財源である。

第10款 県支出金

(単位：円、%)

区分 年度	予 算 現 額 (A)	調 定 額 (B)	収 入 済 額 (C)	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
						(C) (A)	(C) (B)
20	1,000	0	0	0	0	0	-
19	1,000	0	0	0	0	0	-
増減	0	0	0	0	0	0	-

第15款 財産収入

(単位：円、%)

区分 年度	予 算 現 額 (A)	調 定 額 (B)	収 入 済 額 (C)	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
						(C) (A)	(C) (B)
20	363,000	363,377	363,377	0	0	100.1	100
19	356,000	371,544	371,544	0	0	104.4	100
増減	7,000	8,167	8,167	0	0	4.3	0

収入済額 36 万円を前年度と比較すると 8 千円 (2.2%) の減少である。

収入済額の主なもの

- ・ 水源林整備用地貸付料 25 万円

第20款 繰入金

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額 (A)	調定額 (B)	収入済額 (C)	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						(C) (A)	(C) (B)
20	543,000	450,000	450,000	0	0	82.9	100
19	773,000	300,000	300,000	0	0	38.8	100
増減	230,000	150,000	150,000	0	0	44.1	0

収入済額 45 万円を前年度と比較すると 15 万円 (50.0%) の増加である。

収入済額

- ・ 中沢財産区運営基金繰入金 45 万円

第25款 繰越金

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額 (A)	調定額 (B)	収入済額 (C)	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						(C) (A)	(C) (B)
20	262,000	262,341	262,341	0	0	100.1	100
19	448,000	448,383	448,383	0	0	100.1	100
増減	186,000	186,042	186,042	0	0	0	0

収入済額 26 万円を前年度と比較すると 18 万円 (41.5%) の減少である。

収入済額

- ・ 前年度剰余金 26 万円

第30款 諸収入

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額 (A)	調定額 (B)	収入済額 (C)	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						(C) (A)	(C) (B)
20	2,000	111	111	0	0	5.6	100
19	2,000	397	397	0	0	19.9	100
増減	0	286	286	0	0	14.3	0

収入済額 111 円は、預金利子である。

(2) 歳 出

(単位：円、%)

区分 年度	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
20	1,171,000	766,161	0	404,839	65.4
19	1,580,000	857,983	0	722,017	54.3
増減	409,000	91,822	0	317,178	11.1
増減率	25.9	10.7	-	43.9	-

歳出における決算の状況は、予算現額 117 万円に対し、支出済額 76 万円で、執行率は 65.4% となっている。これらを前年度と比較すると、予算現額は 40 万円(25.9%)、支出済額は 9 万円(10.7%) の減少であり、執行率は前年度と比較すると 11.1 ポイント上昇している。

不用額 40 万円は、予算現額の 34.6% (前年度 45.7%) である。

第 5 款 議会費

(単位：円、%)

区分 年度	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
20	318,000	255,850	0	62,150	80.5
19	269,000	243,352	0	25,648	90.5
増減	49,000	12,498	0	36,502	10.0

支出済額 25 万円は、主として議員報酬費である。

第10款 総務費

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
20	560,000	510,311	0	49,689	91.1
19	1,085,000	614,631	0	470,369	56.6
増減	525,000	104,320	0	420,680	34.5

支出済額 51 万円を前年度と比較すると 10 万円 (17.0%) の減少である。これは主として、中沢財産区議会議員通常選挙費が 9 万円減少したことによるものである。

支出済額の内訳

・財産管理費	17 万円
・一般管理費	13 万円
・造林振興事業費	11 万円

不用額の内訳

・一般管理費	2 万円
・財産管理費	2 万円

第25款 予備費

(単位：円)

区分 年度	当初予算額	充当額	予算現額	不用額
20	293,000	0	293,000	293,000
19	242,000	16,000	226,000	226,000
増減	51,000	16,000	67,000	67,000

2 実質収支に関する調書

実質収支に関する調書に記載されている中沢財産区特別会計の計数は、次のとおりである。

実 質 収 支 額

(単位：千円)

会計区分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差引額	翌年度へ繰り 越すべき財源	実質収支額
中沢財産区特別会計	1,075	766	309	0	309

3 財産に関する調書

公有財産及び基金の異動状況は、次のとおりである。

財 産 の 状 況

区 分		単位	前年度末現在高	本年度中増減高	本年度末現在高
公有財産	土 地	m ²	198,601.00	0.00	198,601.00
	出 資 に よ る 権 利	円	210,000	0	210,000
基金	資 基 金 積 立 金 中 沢 財 産 区 運 営 基 金	円	20,867,129	367,503	20,499,626

(山林の内訳)

(単位：m²、m³)

区 分	面 積			立木の推定蓄積量		
	前年度末 現在高	本年度中 増減高	本年度末 現在高	前年度末 現在高	本年度中 増減高	本年度末 現在高
山 林	198,601.00	0.00	198,601.00	5,714.93	65.73	5,780.66

(1) 公有財産

ア 土地

土地の年度末現在高は 198,601 m²で、前年度と同じである。

立木の推定蓄積量の年度末現在高は 5,780 m³で、前年度と比較すると 65 m³増加している。

これは「簡易林分収穫予想表」(神奈川県作成)に基づき、立木の推定蓄積量を算出したことによるものである。

イ 出資による権利

出資による権利の年度末現在高は、津久井郡森林組合出資金 21 万円で前年度と同じである。

(2) 基金

基金の年度末現在高は 2,049 万円で、前年度と比較すると 36 万円減少している。